

序章 計画の策定にあたって

“自助”“共助”“公助”について

住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けることは、住民誰もの願いです。

そのために、私たち自身ができることは何でしょうか？

また、近隣の方々や市民がともに支えあい助けあいながら行えることとは何でしょうか？

まず、下記の3つの“助”を理解して、実践していくことが大切です。

①【自助】… 住民ひとりひとりが豊かな生活を送るために努力すること



私たち自身の人生を豊かにしていくためには、健康に留意したり、教養を高めたり、積極的に人との繋がりをもつことが必要です。

また、自らの困難な問題に対しては、まずは自分自身が考え、行動して、問題の解決を図るよう努めることが大切です。

これらの働きを、“自助”といいます。“自助”は、すべての人々に求められる行為であり、豊かな生活を送るための基礎となるものです。

②【共助】… 近隣の方々、また市民が豊かな地域づくりに協力・協働すること



地域で暮らしていくためには、“自助”だけでは、豊かで有意義な生活を送ることはできません。

近隣の方々どうしが、ともに支えあい助けあい、お互いを気づかいあって、初めて安心した心豊かな暮らしを送ることができます。

また、市民が協働して、様々な市民活動やボランティア活動を行うことも、福祉のまちづくりにとって大切な取組です。

“共助”は、住民の福祉をはぐくむ心の醸成や、「お互い様」という日本人の心の原点ともいえるものです。

③【公助】… 法律や制度に基づき、行政機関などが提供するサービスなど



自分や地域で解決できない課題に対しては、行政や公的機関等の各種サービスを活用し、課題の解決を図っていきます。

しかし、“公助”は、地域福祉においてはあくまでも補完的な役割であり、地域福祉の推進にあたっては、まずは“自助”、そして最も大切な“共助”、それでも解決できない場合の“公助”となります。

上記の“自助”“共助”“公助”を、すべての市民がそれぞれの家庭や地域の中でお互いに理解し、実践していくことが重要です。

ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣”の地域社会の実現には、3つの“助”を適切に効果的に展開させていくことが有効であり、近道であると言えます。

今回の計画は、このような趣旨を踏まえ策定しました。

※向こう三軒両隣→用語集参照（P62）

序章 計画の策定にあたって

“自助”“共助”“公助”について

住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けることは、住民誰もの願いです。

そのために、私たち自身ができることは何でしょうか？

また、近隣の方々や市民がともに支えあい助けあいながら行えることとは何でしょうか？

まず、下記の3つの“助”を理解して、実践していくことが大切です。

①【自助】… 住民ひとりひとりが豊かな生活を送るために努力すること



私たち自身の人生を豊かにしていくためには、健康に留意したり、教養を高めたり、積極的に人との繋がりをもつことが必要です。

また、自らの困難な問題に対しては、まずは自分自身が考え、行動して、問題の解決を図るよう努めることが大切です。

これらの働きを、“自助”といいます。“自助”は、すべての人々に求められる行為であり、豊かな生活を送るための基礎となるものです。

②【共助】… 近隣の方々、また市民が豊かな地域づくりに協力・協働すること



地域で暮らしていくためには、“自助”だけでは、豊かで有意義な生活を送ることはできません。

近隣の方々どうしが、ともに支えあい助けあい、お互いを気づかいあって、初めて安心した心豊かな暮らしを送ることができます。

また、市民が協働して、様々な市民活動やボランティア活動を行うことも、福祉のまちづくりにとって大切な取組です。

“共助”は、住民の福祉をはぐくむ心の醸成や、「お互い様」という日本人の心の原点ともいえるものです。

③【公助】… 法律や制度に基づき、行政機関などが提供するサービスなど



自分や地域で解決できない課題に対しては、行政や公的機関等の各種サービスを活用し、課題の解決を図っていきます。

しかし、“公助”は、地域福祉においてはあくまでも補完的な役割であり、地域福祉の推進にあたっては、まずは“自助”、そして最も大切な“共助”、それでも解決できない場合の“公助”となります。

上記の“自助”“共助”“公助”を、すべての市民がそれぞれの家庭や地域の中でお互いに理解し、実践していくことが重要です。

ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣”の地域社会の実現には、3つの“助”を適切に効果的に展開させていくことが有効であり、近道であると言えます。

今回の計画は、このような趣旨を踏まえ策定しました。

※向こう三軒両隣→用語集参照（P62）